



2022年7月20日発行

拝啓

太陽が眩しく輝き、夏の到来を感じさせる季節となりました。みなさんはいかがお過ごしでしょうか？

夏休みが近づくとつれてイベントなどが楽しみになる時期ですが、毎日のように暑い日が続き、疲れ気味の方もおられるかと思います。そんなときは、涼しい図書館で読書をするのはどうでしょうか？

図書館には小説や写真集など数多くの本が置いてあります。暑い夏を乗りきる本を探しに、ぜひご来館ください。

かしこ

--今月号のラインナップ--

Calendar

2022年8月～9月カレンダー

Lilian Special Info.

ホッと一息 ティータイム特集

今月の一冊

『ルビンの壺が割れた』

LiLian Interview

松谷曄介先生（薬学部 宗教主事）



2022年8月・9月 カレンダー

8月

◎ 8:30~20:00

○ 9:00~16:30

日	月	火	水	木	金	土
	1 ◎	2 ◎	3 ◎	4 ◎	5 ○	6 休館
7 休館	8 ○	9 ○	10 ○	11 休館	12 ○	13 休館
14 休館	15 休館	16 ○	17 ○	18 休館	19 ○	20 休館
21 休館	22 ○	23 ○	24 ○	25 ○	26 ○	27 休館
28 休館	29 ○	30 ○	31 ○			

9月

◎ 8:30~20:00

○ 9:00~16:30

日	月	火	水	木	金	土
				1 ○	2 ○	3 休館
4 休館	5 ○	6 ○	7 ○	8 ○	9 ○	10 休館
11 休館	12 ○	13 ○	14 ○	15 ○	16 ○	17 ○
18 休館	19 ◎	20 ◎	21 ◎	22 ◎	23 休館	24 ○
25 休館	26 ◎	27 ◎	28 ◎	29 ◎	30 ◎	

最新情報は

HPをご確認下さい



LiLian Special Info.

♪ ホットと一息 ティータイム特集 ♪

本格的な夏がやってきました。蒸されるような暑さの中、皆さんいかがお過ごしでしょうか？

炎天下で活動した後に飲みたいのは、キンと冷えた麦茶。ですが、夏を過ごすのに、それだけではもったいない！暑い日でも家から出ずに、カフェ気分が味わえる飲み物、なかなか眠れない夜に寄り添う飲み物など…あなたに合った一杯が見つかるかも。

『おうちでお茶café』 おおまちまき／著 (請求記号：596.7/061)

意外と知らないお茶のコト。種類や作用、豆知識など…

いつもお家で飲むお茶に、ちょっとしたアレンジを加えるだけで、とてもリラックスできる空間に。あなたの気持ちに寄り沿ったお茶とその効果が紹介されています。



『イギリスのお菓子と暮らし』 北野佐久子／著 (請求記号：596.6/Ki69)

イギリスの多くの人に親しまれたお茶と伝統的なお菓子が盛りだくさん ♪ティータイムの風景と共に、上質な雑貨、色鮮やかな庭、アンティークな家具も写真に納められています。イギリスとひとまとめに言っても、地域ごとに違った風景を持っています。日常と少し違った世界をぜひ覗いてみてください！

『世界のホットドリンク=Hot Drinks around the World』

(請求記号：596.7/Se22)

夏と言っても、冷房の効いた部屋で過ごす1日もきっとあるはず。少し身体が冷えたなと感じた時に、ホットと一息つけるような飲み物が紹介されています。世界中の様々な人に聞いた、ホットドリンクにまつわる懐かしい思い出が書かれたページは、私のオススメです！

(りさ)

*** 今月の一冊 ***

『ルビンの壺が割れた』

宿野かほる / 著

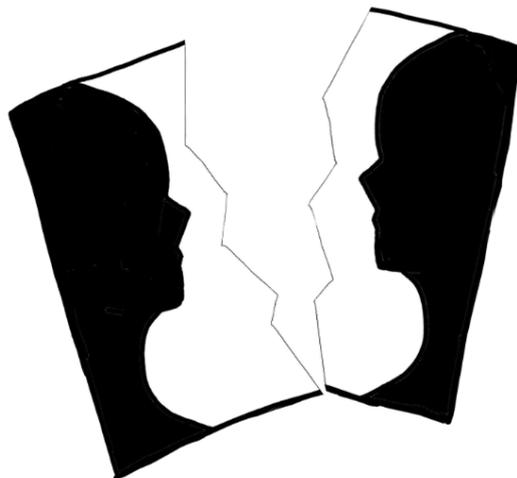
913.6
Y13

閲覧室2F読書コーナー

主人公・水谷がかつての恋人・未帆子に SNS 上でメッセージを送るところから物語が始まります。演劇に打ち込んだ大学時代の思い出話など、懐かしい会話が続きますが、徐々に雲行きが怪しくなっていく…衝撃のラストが貴方を待っています。

読み終えた後に改めて最初から読み返すことで、さらに背筋がゾクッとする感覚を楽しむことができます。「怖い×面白い」が合わさった不思議な感覚になる小説です。

(たまみ)





LiLian Interview

大すきな先生にインタビューに行こう 49

薬学部 宗教主事 松谷^{ようすけ}暉介先生



1. 趣味は何ですか？

趣味というかあえて好きなことは何かと言えば、料理ですね。大学生時代から一人暮らしで自炊していたのもありまして。週末とか、平日も時間があれば作るようにしています。一番作ることが多いのはパスタですね。ちょっと凝ったものではハンバーグを作ります。二週間に一回ほど週末に家族で料理をするのですが、月に一回は餃子を作ります。中国の友人に教えてもらった作り方で、皮から手作りします。



2. 休日はどのように過ごしていますか？

車の運転が好きなこともあり、ドライブに行きます。コロナで観光地などには行けていませんが、家族で公園や温泉に行ったりします。また、先程も話したように料理もします。最近では、一番下の幼稚園の子が電車が大好きで、一緒に瀬戸線に乗って大曾根に行き、中央線で高蔵寺に行ってから愛知環状線、リニモに乗り継いで藤が丘から市バスで帰るということを二、三回ほどしました。

3. お気に入りの本はなんですか？

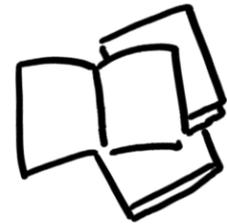
小さい頃好きだった漫画で、今でも大切にしているものが『水滸伝』です。中国の小説が漫画化されたもので、漫画家の横山光輝さんが描いているのですが、大好きですね。歴史の本や『三国志』のような歴史小説、ファンタジー小説も好きですね。『水滸伝』は中国の宋の時代が背景で、社会から排除されてしまった正義感のある人々が結集し、不正を働く官僚や役人の軍隊と戦い、勝っていくという話です。最初から強い英雄ではなくて、社会から外れてしまった真面目な人たちが、苦勞しながら協力して最後に悪を倒すというストーリーが好きです。中学生の春休みに一ヶ月ほどかけて原書の日本語訳を読破したこともあります。

4. 中国史・中国キリスト教史を勉強しようとしたきっかけはなんですか？

私の名前の浬介（日と華）は、日本と中国の友好を願って親が付けてくれたものです。私の父はキリスト教会の牧師で、中国に宣教師として行こうとしていました。結局行けませんでしたが、その頃私が生まれたのでこのような名前をくれました。

その後、両親が地元の福島で教会をしながら国際交流センターという留学生の受け入れ施設を始めたため、私は小さい頃からアジアの留学生たちに囲まれて育ちました。それで自然に将来中国語を学びたい、中国に行ってみたいと思うようになり、大学3年生で北京に留学しました。

中国キリスト教史を学ぶきっかけは、大学で勉強するなかで、中国に一定数いたキリスト教の宣教師が共産党政権によって追い出されたこと、弾圧にあっても信者の数が増えていることを知り、宗教が自由な日本ではキリスト教活動が消極的で、宗教が不自由な中国では活動的であるというギャップに関心をもったことです。



5. 大学教員になったきっかけはなんですか？

もともと教会の牧師をしていて、教会の伝道活動や高齢者や病床者の訪問などを主に行っていました。それと同時に先ほど述べた中国史、中国キリスト教史の研究もしていて伝道と研究の「二足の草鞋」（今風で言えば二刀流!?）でしたが、大学の教員になろうとは思ってはいませんでした。

26歳のときに牧師になって九州の八幡の教会にいましたが、研究をもっとしたかったので北九州市立大学の夜間の大学院に通って博士号を取得しました。そして2013年から2016年まで香港に在外研究のために渡りました。その後、福岡で牧師の働きをしながら、西南学院大学のキリスト教学の非常勤講師をしました。

金城学院大学で宗教主事が一名必要ということで、こちらに務めることになりました。創立者のアニー・ランドルフは中国との繋がりがありますし、私もランドルフと同じ長老派（キリスト教内の教派の一つ）であり、私の妻が金城学院の中高の出身など、色々な縁が重なって「これは神様のお導きだ」と感じて今に至ります。

6. 大学教員の魅力はなんですか？

魅力というと、若い人と接するので元気をもらえるのと、自分も教えられるので勉強になることです。授業の準備自体が勉強になりますが、コメントシートなどで新しい見方や発見があるので私の方が教えられるということがあります。

苦勞と魅力は背中合わせの一面を持ちますが、学生の皆さんとの関わりによって私の知らない世界、新しい価値観を知ることができます。これは教会の牧師ではできないことです。ただ、世代の差や立場の差などで距離の取り方が難しいですね。教員になってまだ二、三年ですし、コロナ禍だったのもあってまだ慣れていない部分が多いです。

7. 尊敬する人はいらっしゃいますか？

誰か特定の個人というより苦勞人を尊敬します。人生経験のある方は笑顔で誰にでも柔らかく接してくれます。年下で外国人の自分にも友人のように接してくれる香港や中国で出会った先輩の牧師や大学の教員など、あとで他の人から聞いた話によると、若いときにお子さんを亡くされたり、その方自身に大きな病気を抱えていたりすることが多いです。人にはあまり言えないような苦勞をした経験のある人は、それを乗り越えたからか人の傷みが分かるからか、笑顔で紳士的に接してくれます。そういう人は尊敬できますね。

8. 金城生へ一言お願いします

苦勞や悩むことはそのときは嫌ですが、後々その経験が役立ちます。「若い時の苦勞は買ってでもせよ」ということわざがありますが、勉強や恋愛、人間関係など苦勞が多いほど考えたり、自分を見つめなおしたりという機会が生まれます。

ですので、もし金城生に一言を言うなら「苦勞や嫌なことから逃げない！」ですね。



☆インタビューを終えて

松谷先生には授業でお世話になっていますが、すごく優しくて知識豊富な真面目な先生というイメージがありました。今回のインタビューでとっても面白いというイメージが加わりました。インタビュー中は常に笑顔で物腰が柔らかくて緊張が和らぎました。先生と中国のルーツ(先生のお名前など)が興味深かったです。先生にインタビューできて本当によかったです！お時間を頂きありがとうございました！

(さくら)

今回初めて松谷先生のお話を聞くことができ、どのお話もとても興味深く、貴重な体験をさせていただいたと感じています。お聞きしたことから中国にも非常に興味が湧いてきたので、紹介して下さった『水滸伝』なども読んでみたいと思いました。

(めい)

*****紹介された本（金城学院大学図書館所蔵）*****

『水滸伝』 請求記号：923/Sh15/(1)～(8)/B5

『(完訳) 三国志』 請求記号：923/Sa63/(1)a～(8)a/B1

